



こんにちは

村田 けい子

です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。
移動事務所 090-9144-

2020.1.24
No235

発行/日 2868 53 産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267 (56)

「議会としての取り組みをのせる」「汗をかいて町民の声を聴く」 1.23寄居町議会へ研修 @議会だより編集委員会で

私が委員長を務める議会だより編集委員会(副委員長:芝間教男さん 7人構成)で埼玉県寄居町議会に研修に伺いました。議会だより「こんにちは 寄居町議会です」が2年連続最優秀賞を取ったところで、「読んでもらえる魅力ある議会だより」をどう作るか、課題として取り組んでいる立科町議会の委員会として、「どんな風に乗っているのか」研修させてもらおうと、町のマイクロバスで出かけました。

寄居町 ()は立科町

- ・人口 3.3万人(約7000人)
- ・面積 64km² (66.87km²)
- ・予算規模 当初予算120億円(45億円)
- ・町内に国道254, 140の2本の国道、秩父鉄道、東武東上線、JR八高線が走る交通の要衝。全国名水百選・水の郷・水源の森百選に選ばれるなど名水の郷として知られる。
- ・『寄居』の起源:中世に城郭の周囲に築かれた集落のことを「寄居」と呼んだとの研究もあり「人々が寄り集まる」町を象徴した名前とのこと。
- ・町の花/カタクリ(すずらん) 町の木/山つつじ(白樺) 町の鳥/キジ(キジ)
- ・議員定数16人/条例定数26

「全国一の議会だより」めざして H28決意



議会だよりは議会の活動をお知らせするものだから

「全国一の議会活動」にしないと。議会基本条例制定 『聴く～動く』議会に

- ・議会として住民の声を聴いて生かす「チーム議会」議員全員で『住民の声』の取材・編集
- ・議会だよりは「広報公聴特別委員会 8人」で作成。議長も毎回参加し、一緒に作っている。
- ・声メーター:顔写真とコメントを載せてもらえる町民の声、すでに448人(11.1発行の議会だよりNo.94まで)
- ・「予算審議～監視～決算審査～提言」の議会発の政策サイクルに基づく活動・その観点での議会だよりの編集+「町民がどう受け止めているか」を絶えず掲載。

「当町の議会だより」について ご意見を伺うと

・議長より「なぜ、町民が登場しないのか」
「『肖像権』など口実にはしているが、面倒くさがってやらないだけではないか」と厳しいご指摘。町民に取材し、意見を聞くことで、町民が議会だよりに関心をもって読んでもらえる。家族・知人・友人に勧めるなど波及効果は大きい。町政についての関心も高まり、「いつ自分のところに聞きに来てくれるか」と期待される。

取材に行くことで町民の声を広く聞くことができる。その姿勢で「議会は町民の代表」の位置づけを高めることができる・・・と「住民と一緒にまちづくり」の姿勢を議会だよりで文字通り示すことの重要性を語りました。

「日本一効果」で全国から視察が相次ぎ、自分たちのやっていることに自信が持てるし、経済効果も大きいと言葉がありました。

3月議会だよりから刷新しようと意気込んでいます。ご期待ください。



銀の櫂(かい)♪ お碗の船に

今週のパチ

西塩沢集落の人形作家Iさん宅の床の間にはなんと一寸法師。

着物の生地を着物・袴を縫い、ちゃんちゃんこまで着せて頭の毛は毛糸で作り、カップ麺のカップに布をかぶせて、お碗とし、箸に布をかぶせて櫂(かい)の代わり。ちゃんと針の刀も差しています。細部までこだわってつくったもの。豊かな心が伝わります。

災害復旧工事のための補正予算決まる。1.24臨時議会

・頭首工12箇所、用水路28箇所分応急工事費 400万円…すでに国の補助事業となつていますが、間に合わないといけなないので、応急工事用に予算を取っておくとのことです。

- ・農業用機械及び農業用施設への支援・・・約2500万円
農業用機械 5件 (国5割、県2割、町2割、本人1割)
農業用ハウス(パイプハウス)の再建・修繕 5件分
(国3割、県、町ともに1.5割、その他4割(共済加入者は共済から、未加入の人は、4割農家負担)

町負担分の7割は特別交付税の措置があります。
今回の補正で新たに町債が470万円増えます。

・道路・橋梁災害復旧費 町道2路線(狐石線、薬研沢線)、
河川2路線(牛鹿川・小桶沢川)の国の 査定が12月議会の査定より増え、不足分の400万円が補正されました。 梨の木橋の下部工の工事も入っています。

・クロスカントリーコースの復旧工事 770万円・・・国の補助制度はないので全額、町負担です。
本会議では、ウガンダチームの練習に間に合うのか、と質問。「ウガンダ共和国からはいつから練習するのかなどの連絡はまだないが、この工事は5月連休までには間に合うようにしたい」との答弁を得ました。



破壊された用水路と泥をかぶった取り入れ前の田

五無齋狂歌かるた新春大会

五無齋研究会では新春の顔合わせ会として、会員だけの狂歌かるた取り大会を開催。私も参加しました。熱戦が繰り広げられました。かるたの後は、手作りのお汁粉でお茶会となり、今年の抱負を語り合いました。



名調子の読み手

「 我死なば～佐久の山
部へ送るべし、焼いてなりとも、
生でなりとも～」

上の句を読んでから、
「『や』です。」といい、下の句を
読んでもらうという工夫を
してもらって取りました。



'20 躍進のつどい

2. 22(土) 午後1:30～4:00ころまで
老人福祉センター

衆議院の解散も予想されています。安倍政権を倒して、野党連合政権をめざすときです。国会議員の国会報告も要請しています。詳細は未定。

ぜひ、日程をあけておいてください。

町内のイラストレーター、福原千代太郎氏が佐久教育会に依頼され完成したばかりの大給 恒(おぎょうゆずる)氏の紙芝居のご披露もありました。大給氏は、佐久市田口の五稜郭を作り、敵味方の区別なく傷ついた兵士を救う日本赤十字の母と呼ばれ、日本の勲章制度を創設したことで知られています。

